

# 森林のたより

## 森林教室&丸太切り体験を実施

### ～相模女子大学小学部4年生のみなさん～



メモを取る様子

11月22日(月)に相模女子大学小学部4年生80名を対象に森林教室を実施しました。

昨年度と同様にコロナ対策として、当署の職員が講師となり、学校に赴いて説明をしました。あいにくの天候でしたが、小学部の皆さんはとても元気でした。

森林教室では『森・木材・人の関係』をテーマに「森林がどうして必要なのか」や「木材がどのように作られるのか」などを説明しました。

初めて聞く言葉ばかりで、難しい内容だったと思いますが、私たちの話に耳を傾けて、メモをしっかり取っていました。

質疑では「事故を防ぐ工夫はしていますか?」や「木以外に地球温暖化を防いでいるものはありますか?」などの質問が出ました。終了時間まで絶え間ない質問が続き、森林についてももっと学びたいという意欲を感じました。

ドローンの飛行デモンストラーションも行いました。初めて見るドローンに興味津々の様子でした。



クイズに解答

説明の途中でクイズを出題しましたが、正解者が多く驚きました。何より小学部の皆さんが積極的に手を挙げていたのが印象的でした。

最後にヒノキの丸太切り体験をしました。最初はなかなかうまく切れなくて苦労していましたが、先生の力を借りたり、工夫をしたりして、綺麗に切ることができていました。切り終わった後も輪切りのしたヒノキの香り嗅いだり、断面を触ったりして、楽しんでいるようでした。切った丸太はキーホルダーとして利用してもらいます。

今回の森林教室を通して、小学部のみなさんには『森林』に興味を持っていただけたと思います。旅行や遠足で森林とふれあう際に、森林教室の話思い出していただけたら幸いです。



丸太切りに挑戦

